

## ● 嬉野で活躍する国際交流員 —— 佐賀県嬉野市産業振興部観光商工課

### はじめに

嬉野市は、佐賀県南西部に位置し、126.41km<sup>2</sup>の総面積を有しています。「肥前小富士」の名を持つ唐泉山など緑豊かな山々に囲まれた嬉野市の中央部を塩田川が清らかに流れ、有明海に注いでいます。

塩田川沿いには、日本三大美肌の湯といわれる良質で高温の温泉資源を有し、その塩田川を中心に温泉旅館が市街地を形成しています。

現在の行政人口は、25,187人（2022年3月末現在）となっており、その内、在住外国人数は166人となっています。また、アジア圏からの在住者が約9割を占めています。

外国籍市民が地域社会の一員として共に安心して生活し、共に住みよいまちづくりを進めています。



公衆浴場シーボルトの湯

### 国際交流員の業務

本市では、2021年から英語圏の国際交流員（CIR）を任用しています。CIRの主な業務は、通訳・翻訳業務、日本語教室「カフェこくさいじん」、外国人観光客の誘致に向けた商談、嬉野市CIRのInstagram運用、そのほか、本市の国際交流事業・観光産業への協力など多岐にわたります。



九州オルレフェア嬉野コースで活躍する CIR  
(左から1番目が本市 CIR)

現在任用中のアメリカ・ケンタッキー州出身のドミニク・ジェンキンスは、英語と日本語だけでなく中国語も堪能で、持ち前の語学力とコミュニケーション能力の高さを生かし国際交流事業・観光産業でも大活躍しています。

### 日本語教室「カフェこくさいじん」での活動

本市では、2017年度に文化庁の「生活者としての外国人のための日本語教育事業 地域日本語教育スタート



「カフェこくさいじん」で書道教室をした時の様子

アッププログラム」に応募し採択され、日本語教室「カフェこくさいじん」を毎月2回程度開催しています。

「カフェこくさいじん」では、嬉野市在住の外国人が毎回10名程度参加されており、CIRが通訳や嬉野市の方言を教えたりしています。

また、「カフェこくさいじん」として市内のイベントに参加することで「カフェこくさいじん」と在住外国人の存在について周知を図っています。

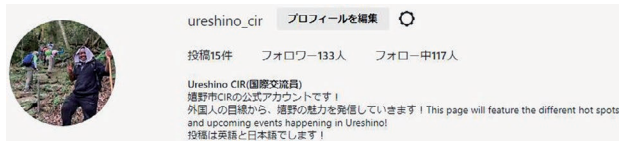
## 国際交流員による SNS の運用

CIRが「カフェこくさいじん」の Facebook と嬉野市 CIR の Instagram の運用をしています。Facebook では、「カフェこくさいじん」の案内や活動報告、災害時の情報共有を行っています。

Instagram では、CIR の目線から観光情報や本市の大事な情報をピックアップして情報提供しています。また、本市 CIR は動画編集技術を駆使して動画での観光施設の紹介を行っています。そして、日本語と英語を併記することでたくさんの人に届くように心がけています。



「カフェこくさいじん」の Facebook



嬉野市 CIR Instagram



URESHINO\_CIR

## 行政放送での活躍

市内に流れる行政放送で CIR が嬉野市に来て学んだ方言と良く使う英語を紹介するコーナーを設けています。

月に1度撮影を行い毎月新しい動画を流しています。この行政放送で使用した動画は、YouTube にも投稿するためどなたでも視聴することができます。

このコーナーを始めてから本市 CIR の知名度も上がり一躍有名になりました。



第724回 うれしのほっとステーション



YouTube での方言コーナーの様子

## 国際交流員と共に

CIR の活躍は、国際交流と観光産業、多文化共生を推進する上で大きな力となっています。市民が異文化に触れ、外国人との相互理解が深まるように、また、外国人住民の皆さんが日本、嬉野の文化に触れていただき、地域の一員として安心して暮らすことができるよう、CIR と共に取り組んでいきます。



嬉野の茶畑を駆け抜ける CIR